

設問

44分

[問い1] 今更、下ら どの又 質問が できるか

- 1) 今回の正社員登用のお話しのお返事はいつまででしようか?
- 2) 「このままお話しをやっていけるのか?」とはどのようなことでしようか?
- 3) 「非常にありがたい」というのはどのようなことでしようか?
- 4) 「親に迷惑をかけられたい」というのは何故ですか?
- 5) 「誰かでもほれる訳では無い。せめてく」というのは?
- 6) 派遣社員と正社員の違いはどのようなことでしようかと思えますか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

良かった点

事例IのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者が勤務先から正社員登用の打診を受け「非常に有難いと思おう一方でやはり不安」と感じている気持ちに寄り添い他聴取可能な点まで話を進めた。

悪かった点

事例IIのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者があまり話したくないという学生時代の親話の言合はどの昔の言合が長くはなり、現在の仕事の詳細についてまで話を聞くことができなかった。

[問い3] CLの主訴

冒頭では「正社員登用の打診を受けたが、どうしようか」と感じ来談されたとのことでした。お話しを伺っていると「今の勤務先は正社員にたれそうだからから勤務した」とのことでした。しかし、いざ正社員登用の言合があった時、非常に有難いと思おう一方で即答できなかったと矛盾がはいている。正社員と派遣社員の違いの理解不足が現時点での主訴だと思おう。

[問い4] 今後の展開 (今後どう進めようか)

派遣社員から正社員への打診を受けたことを踏まえて、「どうしようか」と感じている気持ちに寄り添い他聴取し信頼関係を構築する。そのうえで(1)正社員と派遣社員の仕事や役割の違い、会社から求められること等について、ご自身の整理し、違いを明確して頂く。状況により派遣から正社員登用された方の話を伺うよう提案する。(2)派遣会社に正社員登用の理由を明確に提案した上、ご自身で考えられるような内容を促す。最終的には相談者自身が正社員登用を考へられるよう促す。